

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成21年5月20日

## 【評価実施概要】

事業所番号	270201353		
法人名	社会福祉法人弘前わかば会		
事業所名	グループホームベルフラワー		
所在地 (電話番号)	〒036-8232 青森県弘前市城南5丁目13番地15 (電話) 0172-36-6517		
評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成21年3月24日	評価確定日	平成21年5月20日

【情報提供票より】(平成21年3月7日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 15年 5月 2日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	12 人	常勤	10人, 非常勤 2人, 常勤換算 6.2人

### (2) 建物概要

建物構造	鉄筋造り		
	2階建ての 1階 ~ 2階部分		

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	16,000 円	その他の経費(月額)	15,000 円
敷金	有( ) 円 (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( ) 円 (無)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
または1日当たり 1,200 円			

### (4) 利用者の概要(3月7日現在)

利用者人数	9名	男性	1名	女性	8名
要介護1	1名	要介護2	2名		
要介護3	2名	要介護4	4名		
要介護5	0名	要支援2	0名		
年齢	平均 81歳	最低	74歳	最高	94歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	坂本アレルギー呼吸器科医院
---------	---------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>ホーム内は、ホールの大きな窓などから日差しが入り、とても明るくなっている。ホールの窓の向こうにはテラスがあり、そこでお茶会、食事会などを行ったり、四季折々の景色を楽しまれたりしている。入居者の生活習慣、趣味などについて情報収集し、一人ひとりに合った役割や楽しみごとを支援すると共に、一人ひとりに合った声がけをし、個人が尊重された生活を送られているように見受けられた。</p>
--

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回評価で課題となった「災害対策」では、住民との連携を深め、地域住民の協力委員設置、連絡網を作成されていた。また、「食事を楽しむことができる支援」では、利用者と職員が一緒になって食事を作る大切さを知る為に、調理実習を増やして利用者の表情を観察することに取り組んでいる。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>職員全体で自己評価に取り組み、意見を集約して共通の認識を持ち、サービスの向上に繋げている。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>2ヶ月に1回行われ、前年よりも開催回数が増え、内容も充実してきている。行政との連携も深めて今後もサービスの向上に努めることに期待したい。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対処方法・運営への反映(関連項目:外部10・11)</p> <p>玄関には意見箱が設置されており家族からの意見吸い上げに努力されている。また面会時、電話連絡時の会話の中で得られたささいな事にも対応し、不安が解消されるようにしている。家族の同意を得て入居者の生活状況をホームページで報告している。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>近隣の児童との交流、果物の収穫などに参加してはいるので、今後は自治会などを通じた地域の一員としての活動に期待したい。</p>

## 2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域の中でその人らしい暮らしを大切にしたいと考え、職員全員で確認し、事業所独自の理念を作り、玄関、廊下、スタッフルームに掲示している。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	地域密着型サービスとしての理念を管理者、職員全員が携帯し、毎朝申し送り時に読み上げ確認している。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	近隣の児童が遊びに来てテラスで一緒に食事を楽しんだり、果物の収穫時期に交流したり等の付き合いはあるものの、地域の一員として地域活動に参加していない。		自治会、町内会などへの加入や行事への参加を通じて地域と交流すると共に、地域に貢献することを期待したい。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	5	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>評価の意義を理解し、職員で検討しながら取り組んでいる。外部評価を気づきの機会として捉え、サービス向上に繋げている。</p>		
5	6	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>2ヶ月に1回施行され、民生委員、町内会、家族、行政の職員の参加がありサービスの向上に努めているが、行政職員の回数が年2～3回となっている。</p>		<p>行政の職員のより積極的な参加を求め、連携を深めてサービス向上に繋げる事を期待したい。</p>
6	7	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>市の担当者へ連絡、報告を密にし、必要に応じて電話連絡等で情報を共有しサービス向上に取り組まれている。</p>		
7	8	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>現在、制度を利用している入居者がいる。職員は勉強会を開催して理解を深め、支援に結びつけている。</p>		
8	9	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>あらゆる機会に話し合いを持つとともに勉強会を開催している。また管理者も見過ごされていないか注意をして虐待防止に努めている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
9	10	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>入居時には運営事項、重要事項について、十分な説明を重ね、家族、利用者の理解を得ている。</p>		
10	12	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>	<p>家族の同意を得た方にはホームページにて日ごろの様子や近況が分かるようにしているため、広報誌は休止している。また、健康状態、通院の結果はその都度電話にて報告している。</p>		<p>ホームページを見る機会がない家族の為に、代わりになるような対応に期待したい。</p>
11	13	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>玄関に意見箱を置き家族からの意見吸い上げに努めている。また苦情や意見が寄せられた場合は随時会議を開催し、協議しているが、記録が不十分な例もある。</p>		<p>家族の面会時などによせられた口頭での意見は記録に残すことに期待したい。</p>
12	16	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>やむを得ず異動が生じた場合は、自然体で行われる事が利用者への最小限のダメージと考え取り組んでいる。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
13	17	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>法人内では定期的に研修会を実施している。また職員の段階に合った外部研修に参加を促してスキルアップに繋げている。</p>		
14	18	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループ内では年2回の交流があり、他事業所とは研修会などで同席した際に、意見交換しサービス向上に努めている。</p>		
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
15	23	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>入居前に生活習慣、趣味などの情報収集を徹底しホームの見学を通して十分な説明をしている。また本人が使いなれた物を持参してもらい安心してもらう工夫をされている。</p>		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
16	24	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>人生の先輩として尊敬し、入居者それぞれに役割を持ってもらい、入居者から職員が教えてもらったり、一緒に行ったりしてお互いに支えあっている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
17	30	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>入居前に家族、本人から生活習慣、趣味などの情報収集をするとともに、普段のコミュニケーションの中からも意向や要望が見つけれられるよう努めている。</p>		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
18	33	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>家族面会時に近況を伝え、ケアや生活の意向の吸い上げに努力している。また定期的にアセスメントを実施し担当者が中心となり介護計画を作成している。</p>		
19	34	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>介護計画を3ヶ月毎、また状態の変化に応じて見直しがされている。</p>		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
20	36	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>予定外の外泊等にも柔軟に支援するなど、本人、家族の要望やその時の状況に応じた対応がされている。また空きベットを利用してのショートステイも出来る準備もしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
21	40	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>家族、本人の意向を聞き希望する病院、または協力医療機関を受診する体制が整っている。医師に情報が上手く伝わるために情報提供書を提供している。</p>		
22	44	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>入居時に終末期、重度化については十分説明している。また、状態の変化(急変時)には再度説明、確認をしている。</p>		
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
(1) 一人ひとりの尊重					
23	47	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>プライバシーに対する基本姿勢を職員間の話し合いの中で確認し、一人一人の入居者に合った言葉がけをしている。また記録等の個人情報についても説明を十分実施、承諾書に署名、捺印を得ている。</p>		
24	49	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>その時々々の状況、入居者一人一人のペースや思いに沿った支援がされている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>食事は母体施設より提供されており準備、配膳、後片付けは役割分担をし行っている。また、一週間に一度の調理実習を職員、入居者共に協力し合い行っている。</p>		<p>食事を入居者と共に作り、一緒に食事をして楽しみを共感することに期待したい。</p>
26	54	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>週2回の入浴を提供しているほか、入居者の希望に沿っていつでも入浴できる体制がとられている。</p>		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>一人ひとりの趣味や特技について家族から情報を得たり、また日常の会話の中からも引き出し、計画支援している。</p>		
28	58	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>テラスが開放されており、お茶会、食事会などで楽しまれている。また月1回の遠足、その他買い物、散歩なども定期的に行われている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
29	62	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	退院時に身体拘束されていた実例があったが、管理者、職員全員で身体拘束をしないケアに取り組み、廃止を実現させた。定期的に勉強会も行われている。		
30	63	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	鍵をかけないケアの意義を認識し、玄関居室には施錠していない。転落の危険性がある階段の1箇所には一時的に施錠がされているが、エレベーターは自由に入居者が使って移動されていた。		
31	68	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	毎月火災訓練を実施している。また、災害発生時に使えるよう地域住民用の連絡網を作成し、配布している。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
32	74	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	母体施設の栄養士、医師などの協力のもと、一人ひとりの健康状態にあわせて、カロリーや水分量を調整している。また職員が給食会議にも参加し、個人に合った食事を提供している。		
33	75	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	定期的に勉強会が開催されており、マニュアルも作成されている。インフルエンザに関しては毎年職員、入居者が予防接種を行っている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p><b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b></p>					
<p><b>(1) 居心地のよい環境づくり</b></p>					
34	78	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>ホールは大きなガラス張りになっており四季折々の風景が楽しめる。ロールカーテンで日差しの調整がなされている。また温度計、湿度計が備えられており心地よく過ごせるよう工夫がされている。</p>		
35	80	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居者本人の希望に合わせて各自使い慣れたものを持込んでもらい、配置も本人の希望に合わせて行うなど居心地よく過ごせるよう工夫している。</p>		

 は、重点項目。